

吉田文和教授 略歴及び研究業績目録

略 歴

氏 名 よしだ ふみかず 吉田 文和
本 籍 神奈川県
生年月日 昭和25年4月7日

学 歴

昭和44年3月 東京教育大学付属駒場高等学校卒業
昭和44年4月 東京都立大学経済学部入学
昭和48年3月 同学部卒業
昭和48年4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
昭和50年3月 同課程修了, 京都大学修士(経修第212号)
昭和50年4月 同博士課程入学
昭和53年3月 同課程単位修得退学

学 位

昭和60年11月 学位記: 京都大学経済学博士の学位取得(京都大学 論経博第60号)

職 歴

昭和53年4月 北海道大学経済学部講師
昭和55年4月 同助教授
平成4年8月 同教授
平成12年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授
平成17年4月 北海道大学公共政策学連携研究部教授
平成20年4月 北海道大学公共政策大学院附属公共政策学研究センター長(平成22年3月まで)
平成22年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授
平成22年4月 北海道大学経済学部経済学科長(平成23年3月まで)
平成27年3月 北海道大学定年退職
平成27年4月 愛知学院大学経済学部経済学科教授(令和3年3月まで)
令和3年3月 愛知学院大学定年退職

学会及び社会における活動等

昭和48年6月 科学史学会会員(～平成3年3月まで)

- 昭和48年9月 経済理論学会会員（～現在）
平成7年11月 環境経済・政策学会副会長（平成20年4月～22年3月まで）
平成18年6月 北海道環境審議会会長（平成20年5月まで）
平成16年6月 札幌市廃棄物減量等推進審議会会長（平成21年5月まで）

賞 罰

- 平成12年5月 廃棄物学会、著作賞受賞（『廃棄物と汚染の政治経済学』岩波書店）
平成27年5月 環境経済・政策学会論壇賞（『ドイツの挑戦』日本評論社）

研究業績一覧

I 著書

1. 『三井資本とイタイタイ病』 共著 大月書店 1979年2月
2. 『環境と技術の経済学』 単著 青木書店 1980年6月
3. 『マルクス機械論の形成』 単著 北海道大学図書刊行会 1987年5月
4. 『ハイテク汚染』 単著 1989年3月 岩波書店
5. 『高技術汚染』 単著 中国環境科学出版社 1998年5月
6. 『廃棄物と汚染の政治経済学』 単著 岩波書店 1998年9月
7. 『IT汚染』 単著 岩波書店 2001年7月
8. *The Economics of Waste and Pollution Management in Japan* 単著 Springer Verlag 2002年3月
9. 『環境と開発』 共編著 岩波書店 2002年10月
10. 『市民がつくる公共事業』 共著 岩波書店 2003年2月
11. 『環境の評価とマネジメント』 共編著 岩波書店 2003年4月
12. 『循環型社会』 単著 中央公論新社 2004年4月
13. *The Cyclical Economy of Japan* 単著 Hokkaido University Press 2005年8月
14. 『北海道からみる地球温暖化』 共著 岩波書店 2008年5月
15. 『日本の循環経済』 単著 中国環境科学出版社 2008年10月
16. 『持続可能な低炭素社会』 共編著 北海道大学出版会 2009年3月
17. 『日本版グリーン革命で経済・雇用を立て直す』 共著 洋泉社 2009年6月
18. 『環境経済学講義』 単著 岩波書店 2010年3月
19. *Sustainable Low-Carbon Society* 共編著 Hokkaido University Press 2010年3月
20. 『持続可能な低炭素社会Ⅱ』 共編著 北海道大学出版会 2010年11月
21. 『持続可能な低炭素社会Ⅲ』 共編著 北海道大学出版会 2011年3月
22. 『グリーン・エコノミー』 単著 中央公論新社 2011年6月
23. 『環境経済学新論』 単著 中国郵電出版社 2011年11月
24. *Lecture on Environmental Economics* 単著 Hokkaido University Press 2012年3月
25. *Fukushima* 共著 Hokkaido University Press 2013年3月
26. 『公共政策学の将来』 共著 北海道大学出版会 2016年4月
27. *The Rejuvenation of Political Economy* 共著 Routledge 2016年3月
28. 『ドイツの挑戦 エネルギー大転換の日独比較』 単著 日本評論社 2015年12月
29. 『スマートフォンの環境経済学』 単著 日本評論社 2017年8月

II 学術論文 (査読付のみ)

1. 「マルクス1861-63年草稿“労働過程”論の技術論的検討」 単著 『科学史研究』 No.122, 94-104頁, 1977年夏
2. 「巨大装置の“技術の経済学”的分析」 単著 『科学史研究』 No.124, 207-215頁, 1977年冬
3. “The Industry of Nations and Marx’s Das Capital” 単著 *Historia Scientiarum*, No.24, 77-85, 1983年
4. “Robert Willis’ Theory of Mechanism and Karl Marx” 単著 *Historia Scientiarum*, No.25, 1983, 87-92, 1983年

5. “High-Tech Pollution in Japan” 単著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 2. 91-95, 1999年3月
6. “Itai-Itai Disease and the Countermeasures against Cadmium Pollution by the Kamioka Mine” 共著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 2. 215-229, 1999年10月
7. “Soil Pollution Control in Japan,” 共著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 3(1). 59-64, 2000年4月
8. “New Legislation for Soil Environment Protection,” 単著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 4(4). 269-272, 2001年1月
9. 「持続的森林経営とその担い手」 共著 『環境経済・政策学会年報』第7巻 216-230頁, 2002年9月
10. 「産業物質代謝論の成果と課題」 単著 『人間と環境』28(2), 84-93頁, 2002年6月
11. “Information technology waste problems in Japan” 単著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 5(3). 249-260, 2002年6月
12. “Environmental restoration of Minamata: new thinking brings new advances” 単著 *Sustainability Science* Vol. 1 No.2, 85-93, 2007年6月
13. 「韓国における使用済み電気・電子機器再活用と輸出の考察」 共著 『廃棄物学会論文誌』Vol.19 No.4, 235-243頁, 2008年7月
14. 「中国の循環経済－再生金属産業と家電リサイクルを中心に」 共著 『環境経済・政策研究』Vol.1 No.2, 14-25頁, 2008年7月
15. “Japan, the European Union, and the Waste Electronic and Electrical Equipment Recycling: Key Lessons Learned” 共著 *Environmental Engineering Science*, DOI: 10. 1089/ees, 2009年9月
16. 「都市鉱山の経済学」 単著 『資源・素材学会誌』第126巻, 166-171頁, 2010年6月
17. “Information and communication technology and environmental issues”, 単著 *Environmental Economics and Policy Studies*, 12. 133-138, 2010年4月
18. 「北海道の風力発電の経験から見た再生可能エネルギーと全量固定価格買取制度」 共著 『環境経済・政策研究』Vol.4 No.4, 80-83, 2011年3月
19. “Multiple Conditions of Urban Mining” 共著 *Selected Proceedings of International Conference of Waste Management and Technology*, 6th, 131-134, 2011年9月

Ⅲ 学会発表 (招請講演のみ)

1. 「循環型社会と公平性」 国連大学グローバルセミナー東北セッション 招請講演, 福島市。2004年8月2日
2. 「環境再生とまちづくり」 日本公衆衛生学会第64回総会メインシンポジウム基調講演, 『日本公衆衛生雑誌』第52巻第8号, 特別付録, 平成17年8月, 82頁, 札幌市。2005年9月14日
3. Japan’s Pollution Experience, Its Lessons, and the Possibilities for Applying Them. International Workshop on “Crossing Border in Sustainability Development: Social Scientific Contributions”, Sanjo Hall, The University of Tokyo, IR3S. 招請講演。2006年2月4日
4. Sustainable and Cyclical Economy of Asia: Overview, Hokkaido University International Symposium on Sustainable development, Hokkaido University. 招請講演。2006年8月7日
5. An Economic Analysis of Municipal Solid Waste in Japan, Invited Speech in the Second International Conference on Waste Management and Technology, Beijing China. 招請講演。2007年7月18日

6. 「循環型社会の経済分析」『産業衛生学雑誌』第50巻臨時増刊号, 第82回日本産業衛生学会講演集, 315-316頁。2008年6月
7. 「適応と緩和－社会科学の立場から」『地球温暖化－科学者からのメッセージ』日本学術会議・北海道大学主催, 北海道大学。2008年6月25日
8. Establishment of Collection and Treatment System of WEEE: Key Lessons learned about WEEE Recycling from Japan and the EU. Invited Speech in the Second International Conference on Waste Management and Technology, Beijing China. 招待講演。2008年11月5日
9. 「環境を守り雇用を創るグリーン・ニューディールの可能性と課題」, 一橋大学農林中央金庫寄付講座発足記念シンポジウム, 一橋大学, 招待講演。2009年4月18日
10. 「都市鉱山のリサイクル経済」『平成21年度資源・素材関係学協会合同秋期大会』, 北海道大学, 招待講演。2009年9月8日
11. IT and Environmental Issues, Sixth International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing (Eco Design 2009), Sapporo, (key note speech). 2009年12月8日

IV その他

1. 「非鉄金属資本の資本蓄積と公害」単著 京都大学『経済論叢』118(5/6), 25-54頁。1976年12月
2. 「第一次大戦不況下における鉱山公害問題」単著 京都大学『経済論叢』119(1/2), 59-84頁。1977年2月
3. 「戦時下の鉱山公害問題」単著 京都大学『経済論叢』119(3), 53-76頁。1977年3月
4. 「鉱害倍償規定の成立過程－鉱業法改正調査委員会議事録および第74回帝国議会議事録の検討を中心に」共著 北海道大学『経済学研究』, 28(3), 73-161頁。1978年8月
5. 「石炭産業における労働過程と労働手段」単著 北海道大学『経済学研究』31(1), 107-119頁。1981年6月
6. 「鉱区所有と資本」単著 北海道大学『経済学研究』31(2), 193-212頁。1981年8月
7. 「ソ連のエネルギー問題」単著 北海道大学『スラブ研究』第28号, 73-102頁。1981年11月
8. 「シリコンバレーのハイテク汚染」単著 『世界』1988年6月号, 326-337頁。1988年6月
9. 「セラフィールド・核の洗濯場」単著 『世界』1990年5月号, 321-329頁。1990年5月
10. 「米国の有害廃棄物政策の現状と問題点」単著 『公害研究』21(4), 41-53頁。1992年4月
11. 「日本における土壌汚染対策と費用負担問題」単著 『環境と公害』第26巻第4号, 16-22頁。1997年4月
12. 「環境リスクにいかに向き合うか－水俣病事件に学ぶ－」共著 『思想』2004年7月号, 102-121頁。2004年7月
13. 「公害は科学観にどう影響したか」共著 『科学』Vol.75, No.9, 2005, 1071-1075頁。2005年9月
14. 「廃棄物政策研究の動向と課題」単著 『環境と公害』第36巻第2号, 2006年, 51-56頁。2006年7月
15. 「原子力をめぐるリスクと倫理」共著 『科学』2012年1月号, 88-92頁。2012年1月
16. 「ドイツ・デンマークにみる再生可能エネルギーの新段階」共著 『世界』2012年2月号, 112-121頁。2012年2月
17. 「これからのエネルギー」単著 北海道新聞2011年10月1日夕刊－12月17日夕刊, 10回連載。2011年10月1日－12月17日